

2021年度秋期授業アンケートに関する調査

高等教育開発センター
教育方法研究支援室
助教 安部健太

報告の流れ

- 報告1. 調査の概要（安部）
- 報告2. 2021年度秋期の結果概要と春期との比較
（山口先生）
- 報告3. 2021年度、2020年度、2019年度の比較
（山口先生）
- 報告4. 2021年度秋期の自由記述について（安部）

調査目的

- 八王子キャンパスのFD活動の一環として、2021年度秋期に授業アンケートを実施した科目を対象とした調査を行い、学生の授業での学習状況を把握・分析し、その結果を教員にフィードバックすることで、今後の授業改善や授業開発に寄与する
- 縦断的な調査を実施・比較することにより、授業形式の変化に伴う学生の評価や各教員の授業改善の成果を明らかにし、内部質保証のデータとして蓄積する

調査方法

➤ 実施期間

- 2022年1月6日（木）～1月17日（月）

➤ 手続き

- 2021年度秋期授業に関する学修状況調査（総括）の中で実施
- 学生はポータルサイトより [学生調査] - [実施科目] を選択して回答
- 履修者への回答依頼は、ポータルサイトのインフォメーションと実施科目の担当教員から



調査対象科目

➤ 2021年度秋期開講科目数

- 3,101科目

※2020年度オンライン授業調査は
全科目を対象とした単独での調査

20春
3,007科目

20秋
2,968科目

21春
1,317科目

➤ 調査実施対象科目数

- 1,304科目（有効回答 1,081科目）
- 開講科目のうち授業アンケートが実施された科目
- 専任教員は実施対象科目を最低2科目、非常勤教員は実施対象科目を最低1科目選定
- フルオンライン授業科目は実施対象

回答者概要

➤履修者数

- 66,390名 (のべ)

➤有効回答件数

- 7,000件 (のべ)
- 正規生 (在学) のみ、大学院生 / 科目等履修生の72件を除く

➤履修者数に対する有効回答率

- 10.5%

20春
35.4%

20秋
10.2%

21春
11.8%

➤学年別回答者内訳

- 履修科目のうち一つでも回答した学部生を対象

学年	回答者数	対象者数	回答率
1年	845	3,327	25.4%
2年	991	3,488	28.4%
3年	614	3,336	18.4%
4年	596	3,878	15.4%
全体	3,046	14,029	21.7%

20春
42.8%

20秋
14.3%

21春
22.6%

2020年度との相違点

	2020年度	2021年度
方法	オンライン授業調査	授業アンケートの一部
対象科目	アンケート対象の全科目	教員による選定科目
質問項目	オンライン授業調査向け	対面授業と共通

2021年度秋期授業アンケートの結果報告：

2021年度春期との比較から

**高等教育開発センター
教学IR推進室
助教 山口 泰史**

2021年度秋期授業アンケートの集計結果

設問

1. あなたは、この授業にこれまでどの程度出席していますか。(オンライン授業を含む)

2. この授業では、教員の説明や教材は内容がよく理解できるようになっていますか。

3. この授業では、教員は学生の質問や発言などに対応をしてくれていますか。

4. この授業では、到達目標を理解するのに十分な説明や取り組みがありますか。

5. この授業では、成績評価方法や評価基準を理解するのに十分な説明や取り組みがありますか。

6. あなたは、この授業のねらいや目標を理解して授業に取り組んでいますか。

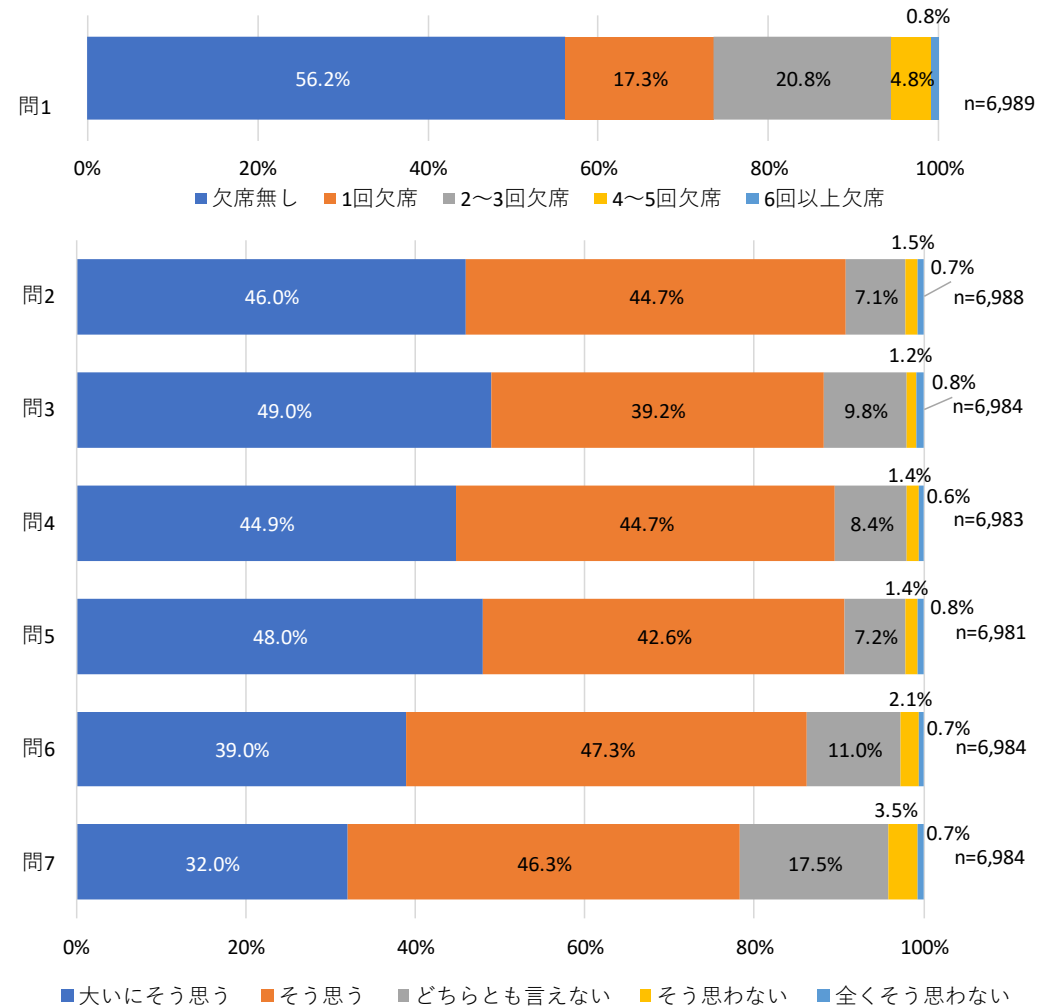
7. あなたは、この授業の到達目標を達成できていますか。

8. あなたは、この授業の学修（授業や課題、レポートの作成、予習、復習も含む）を1週あたりどの程度行っていますか。

9. あなたはこの授業で分からないことや疑問に思ったことについて、主にどのように対応しているか選択肢から1つ選んで下さい。

10. あなたは、総合的に見て、この授業に満足していますか。

11. この授業はオンライン授業を何回実施しましたか。



2021年度秋期授業アンケートの集計結果

設問

1. あなたは、この授業にこれまでどの程度出席していますか。(オンライン授業を含む)

2. この授業では、教員の説明や教材は内容がよく理解できるようになっていますか。

3. この授業では、教員は学生の質問や発言などに対応をしてくれていますか。

4. この授業では、到達目標を理解するのに十分な説明や取り組みがありますか。

5. この授業では、成績評価方法や評価基準を理解するのに十分な説明や取り組みがありますか。

6. あなたは、この授業のねらいや目標を理解して授業に取り組んでいますか。

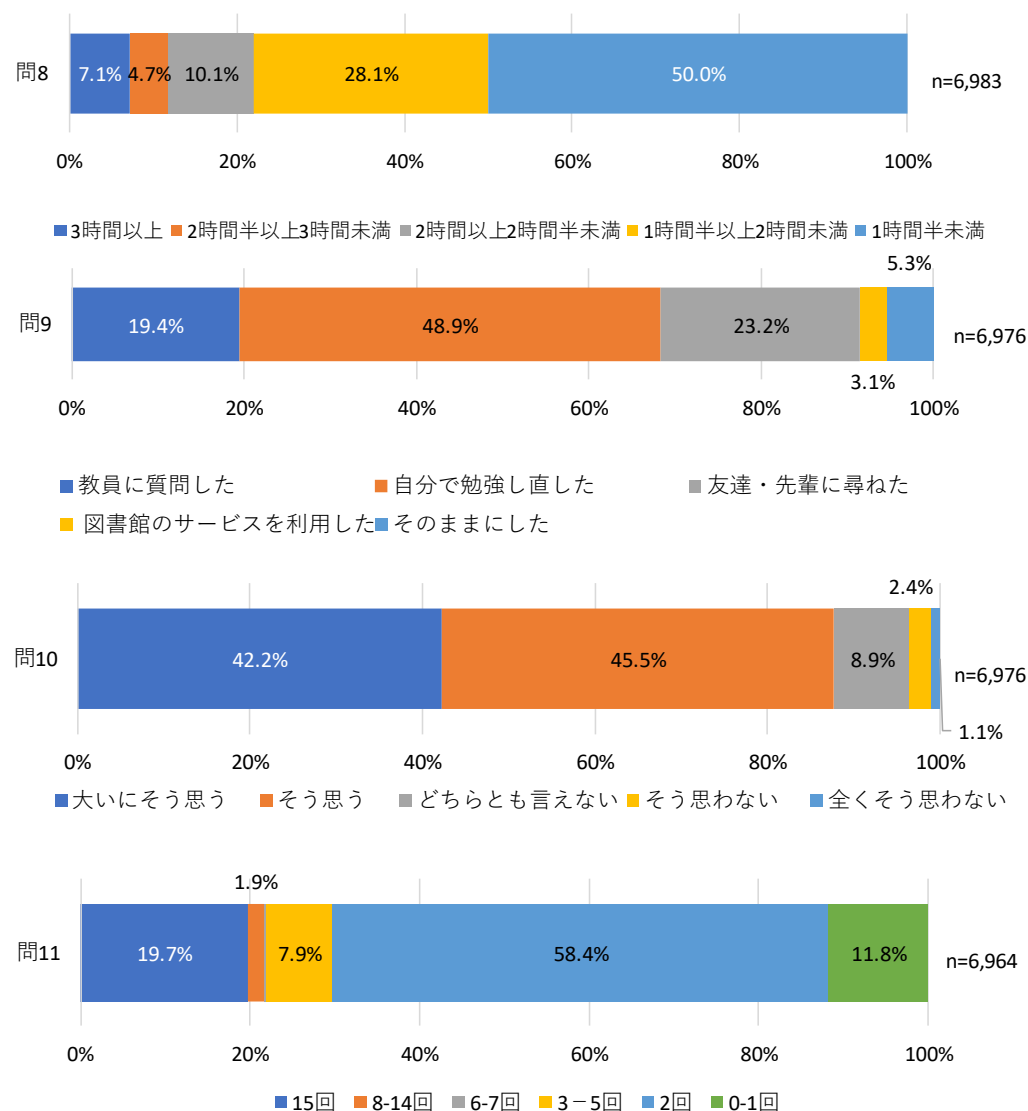
7. あなたは、この授業の到達目標を達成できていますか。

8. あなたは、この授業の学修（授業や課題、レポートの作成、予習、復習も含む）を1週あたりどの程度行っていますか。

9. あなたはこの授業で分からないことや疑問に思ったことについて、主にどのように対応しているか選択肢から1つ選んで下さい。

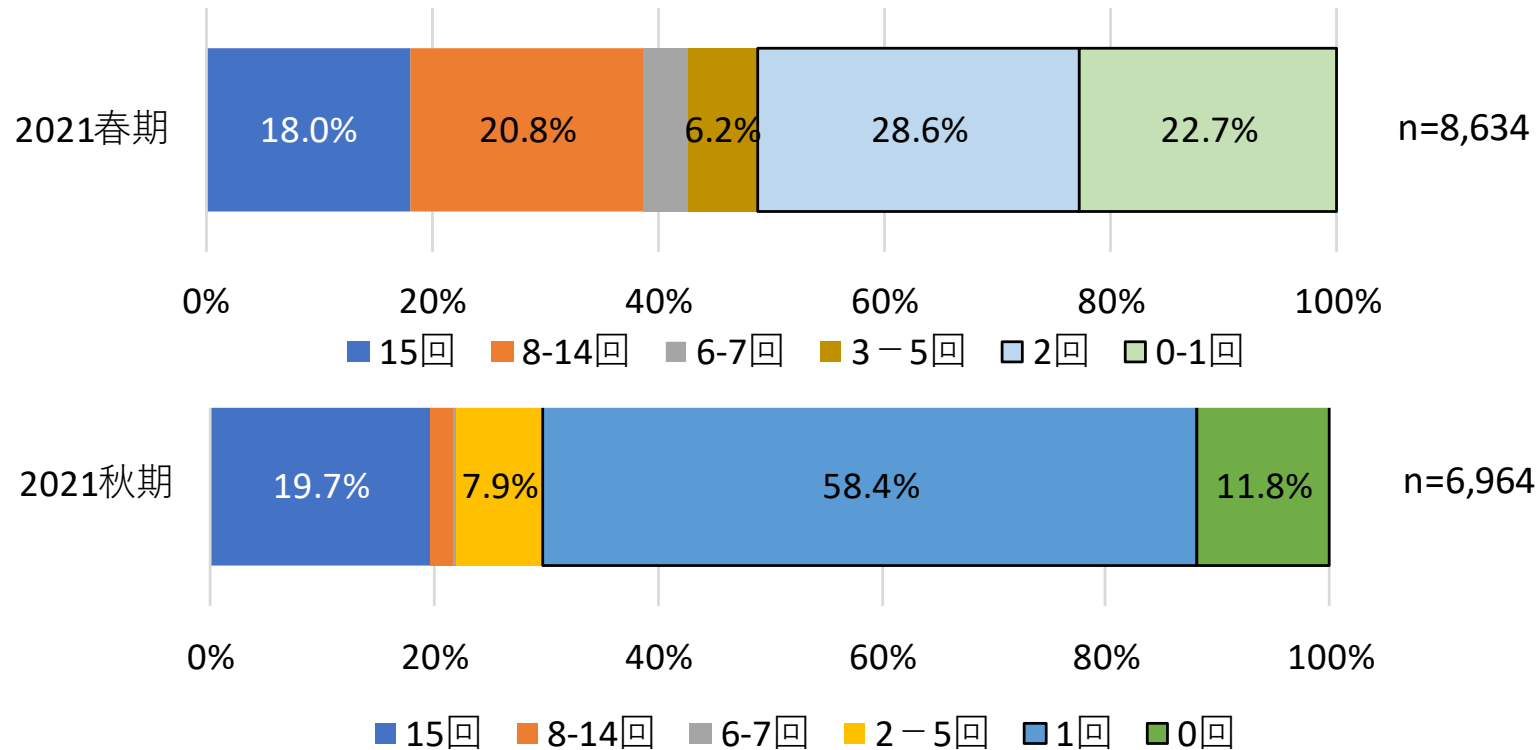
10. あなたは、総合的に見て、この授業に満足していますか。

11. この授業はオンライン授業を何回実施しましたか。



2021年度春期との比較：問11（授業形式）

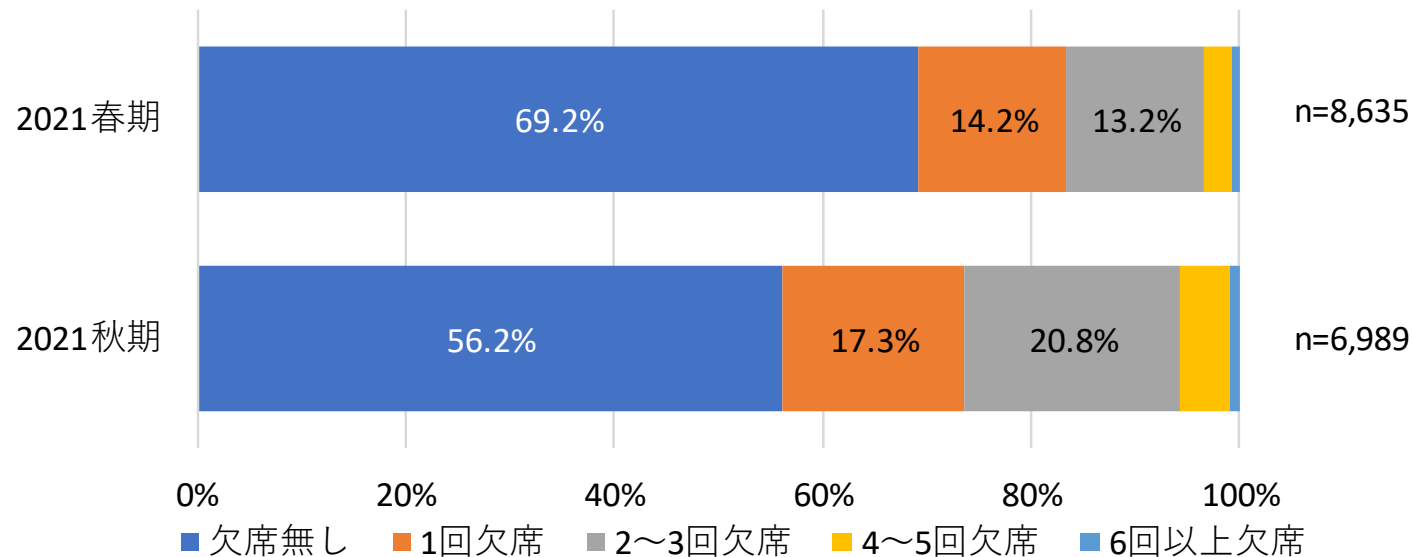
➤ この授業はオンライン授業を何回実施しましたか。



→完全対面（～1回）が大きく増加

2021年度春期との比較：問1

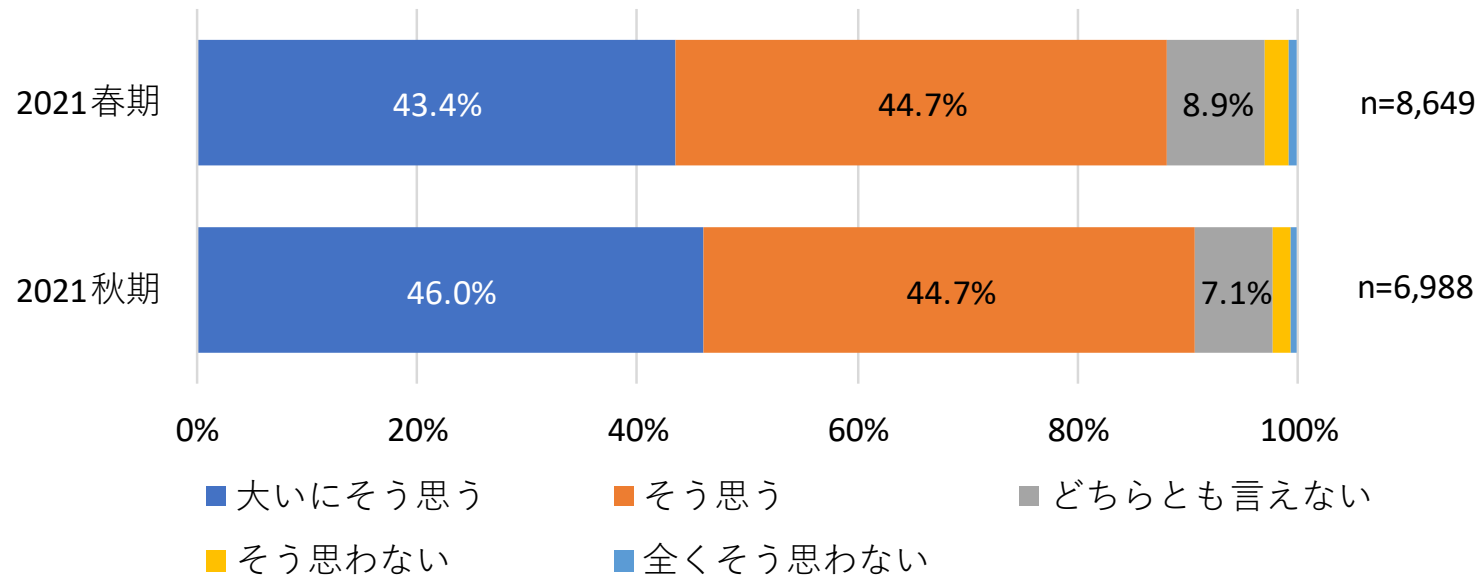
- あなたは、この授業にこれまでどの程度出席していますか。
(オンライン授業を含む)



→ 「欠席無し」の割合がやや縮小。「2~3回欠席」が増加した

2021年度春期との比較：問2

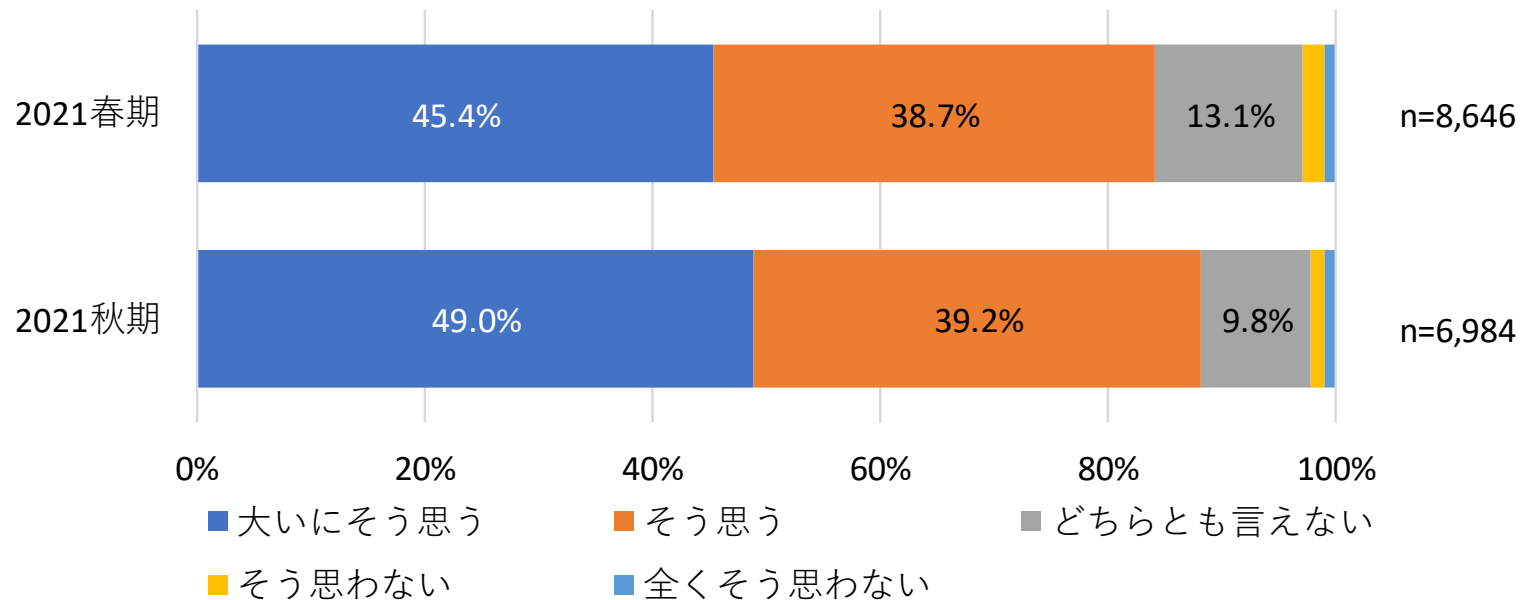
- この授業では、教員の説明や教材は内容がよく理解できるようになっていますか。



→傾向はほぼ変わらず

2021年度春期との比較：問3

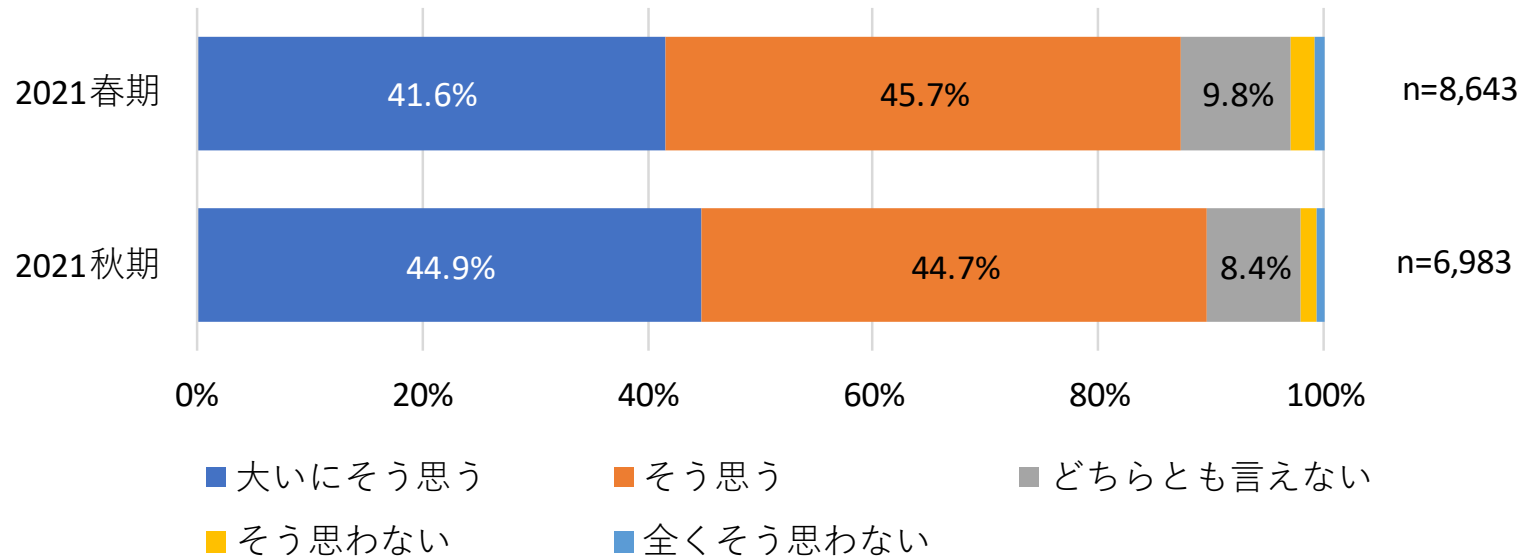
➤ この授業では、教員は学生の質問や発言などに対応をしてくれていますか。



→ 「大いにそう思う」 + 「そう思う」がわずかに増加

2021年度春期との比較：問4

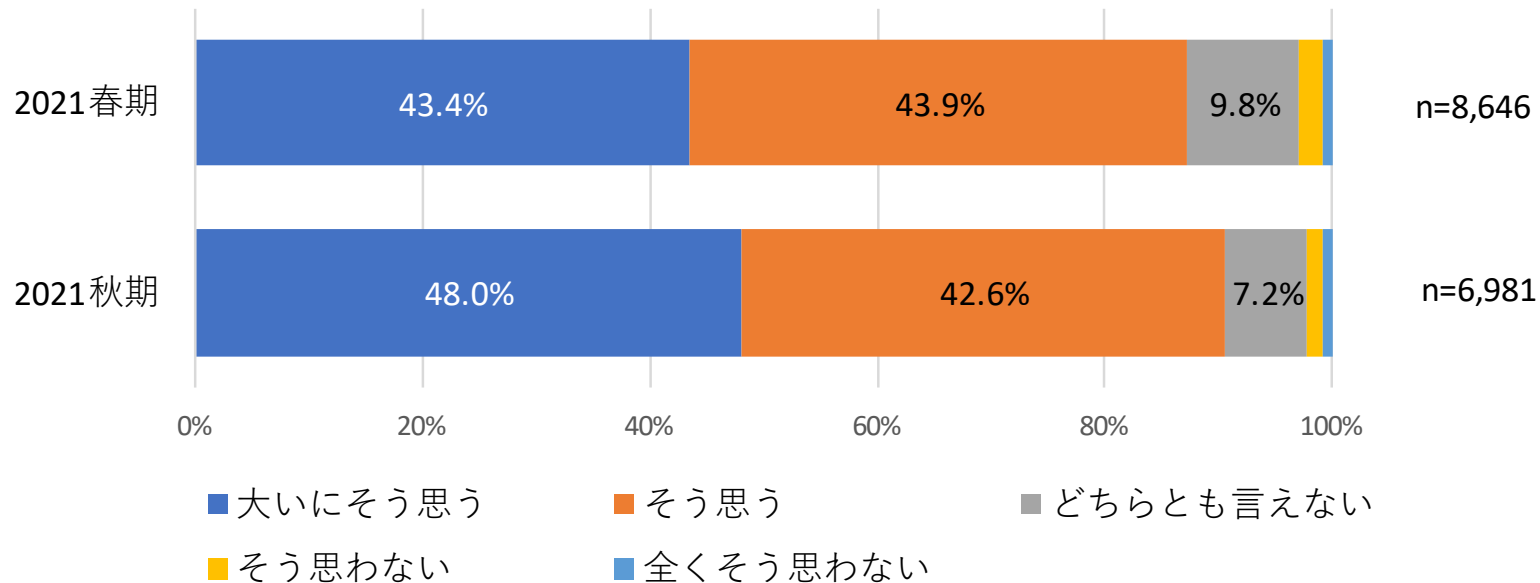
- この授業では、到達目標を理解するのに十分な説明や取り組みがありますか。



→傾向はほぼ変わらず

2021年度春期との比較：問5

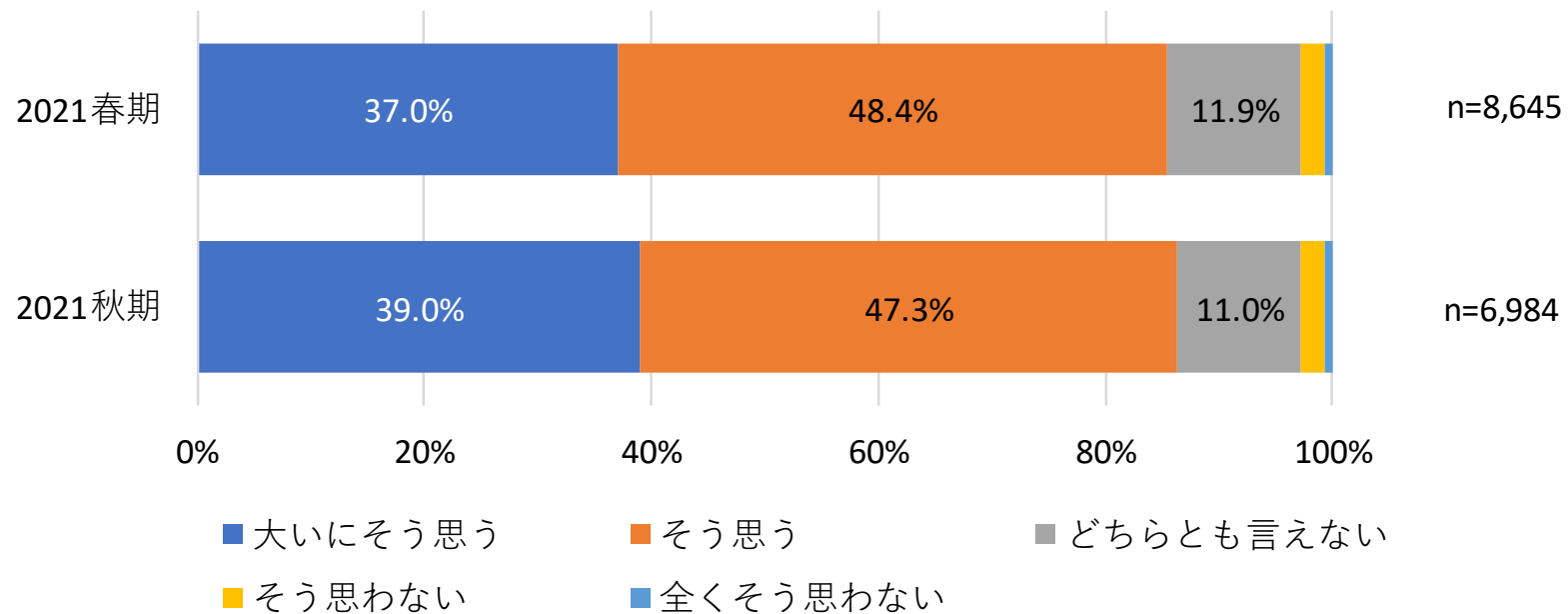
- この授業では、成績評価方法や評価基準を理解するのに十分な説明や取り組みがありますか。



→傾向はほぼ変わらず

2021年度春期との比較：問6

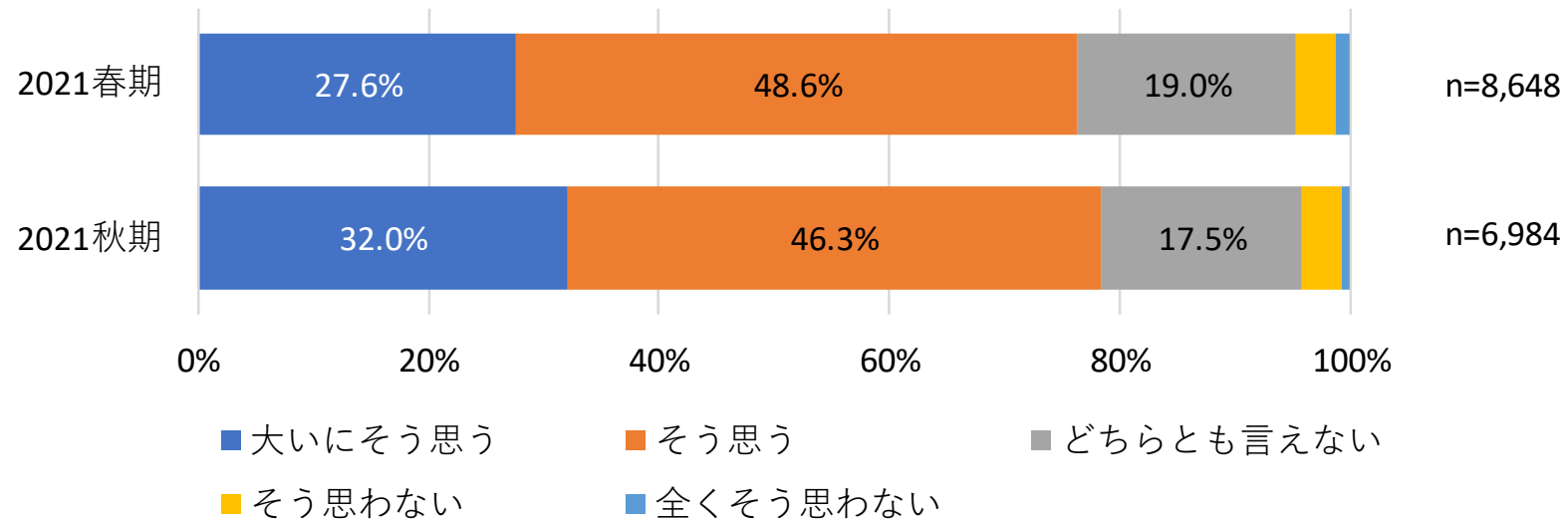
➤ あなたは、この授業のねらいや目標を理解して授業に取り組んでいますか。



→傾向はほぼ変わらず

2021年度春期との比較：問7

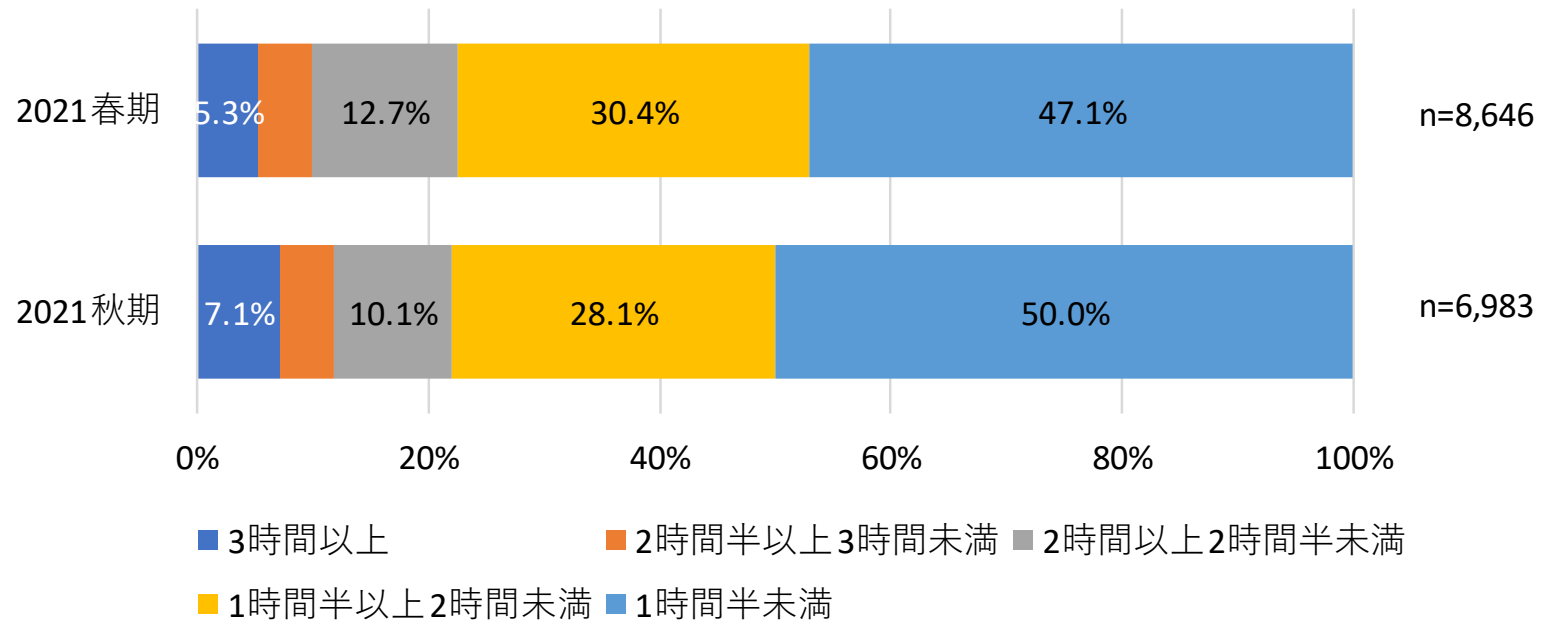
➤ あなたは、この授業の到達目標を達成できていますか。



→傾向はほぼ変わらず

2021年度春期との比較：問8

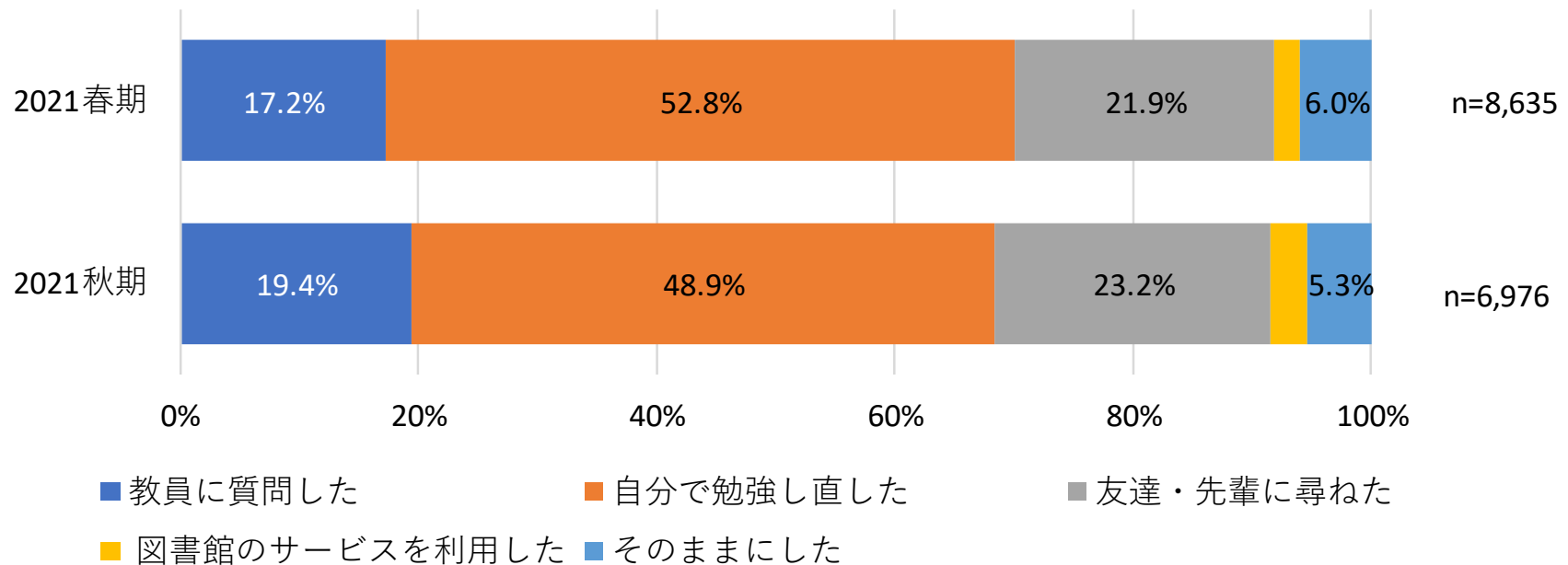
- ▶ あなたは、この授業の学修（授業や課題、レポートの作成、予習、復習も含む）を1週あたりどの程度行っていますか。



→大きな変化はみられない

2021年度春期との比較：問9

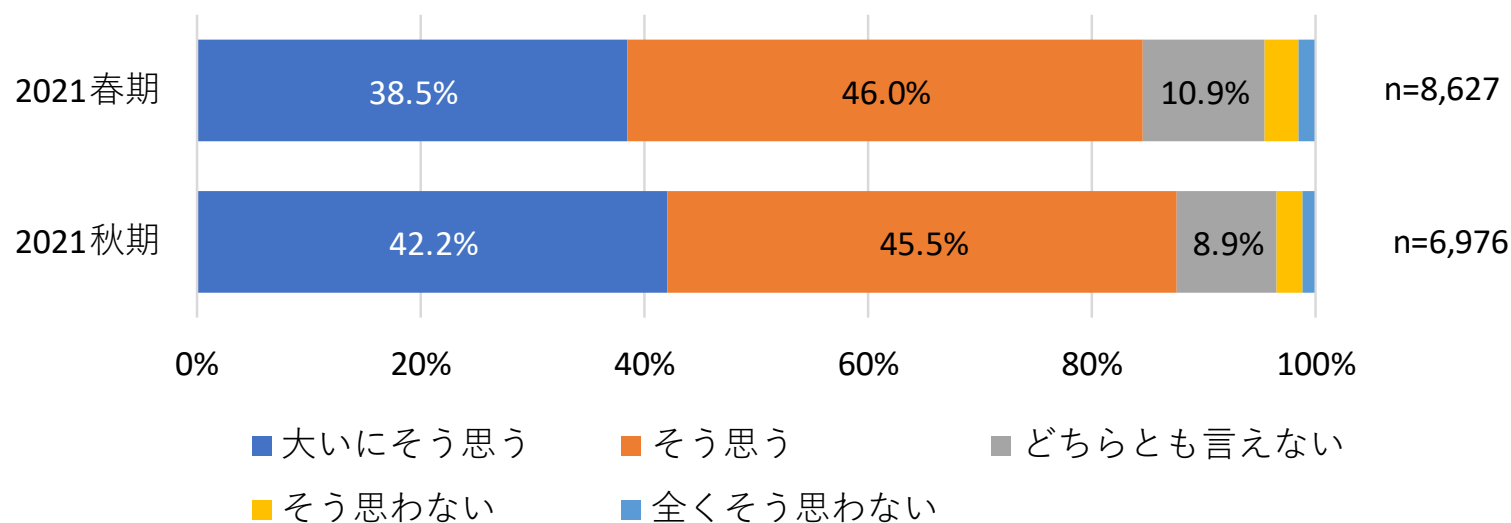
- あなたはこの授業で分からないことや疑問に思ったことについて、主にどのように対応しているか選択肢から1つ選んで下さい。



→大きな変化はみられない

2021年度春期との比較：問10

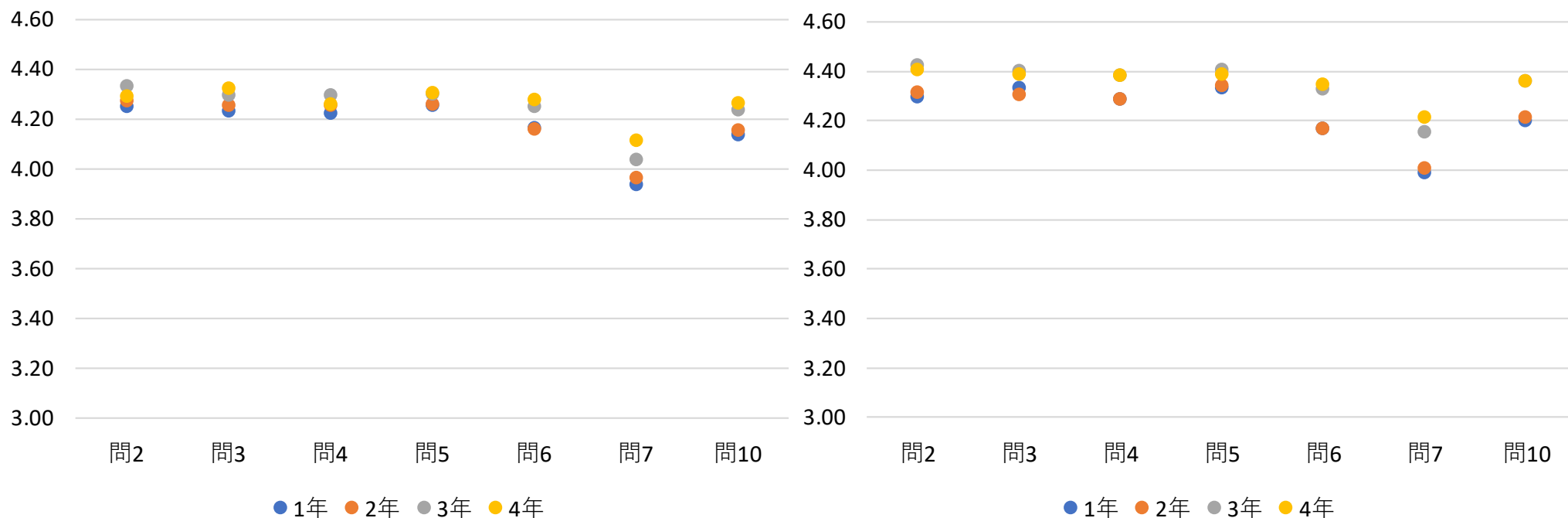
➤ あなたは、総合的に見て、この授業に満足していますか。



→傾向はほぼ変わらず

2021年度春期との比較：学年別の検討

➤ 2021年度春期（左）と2021年度秋期（右）



→多くの項目で、1,2年生と3,4年生の差が拡大傾向？

2021年度春期との比較：まとめ

- 授業形態は、春期と比べても大きく変化
 - オンライン形式が中心の授業は、引き続き一定数みられる
 - 完全対面の授業の割合が大きく増加
- 一方で、授業における教員／学生の取組状況や、満足度には大きな変化は無し。ただし、学年間の格差が広がっている？
 - 授業欠席は若干増加傾向
 - 教員の授業運営（説明など）や学生の学修への取り組み方には大きな変動なし
 - 春期、秋期ともに大半の学生が、総合的に見て授業に満足
 - 春期に比べて秋期では、1,2年生と3,4年生の差が拡大傾向

**2021年度秋期授業アンケートの結果報告：
2019年度秋期、2020年度秋期との比較から**

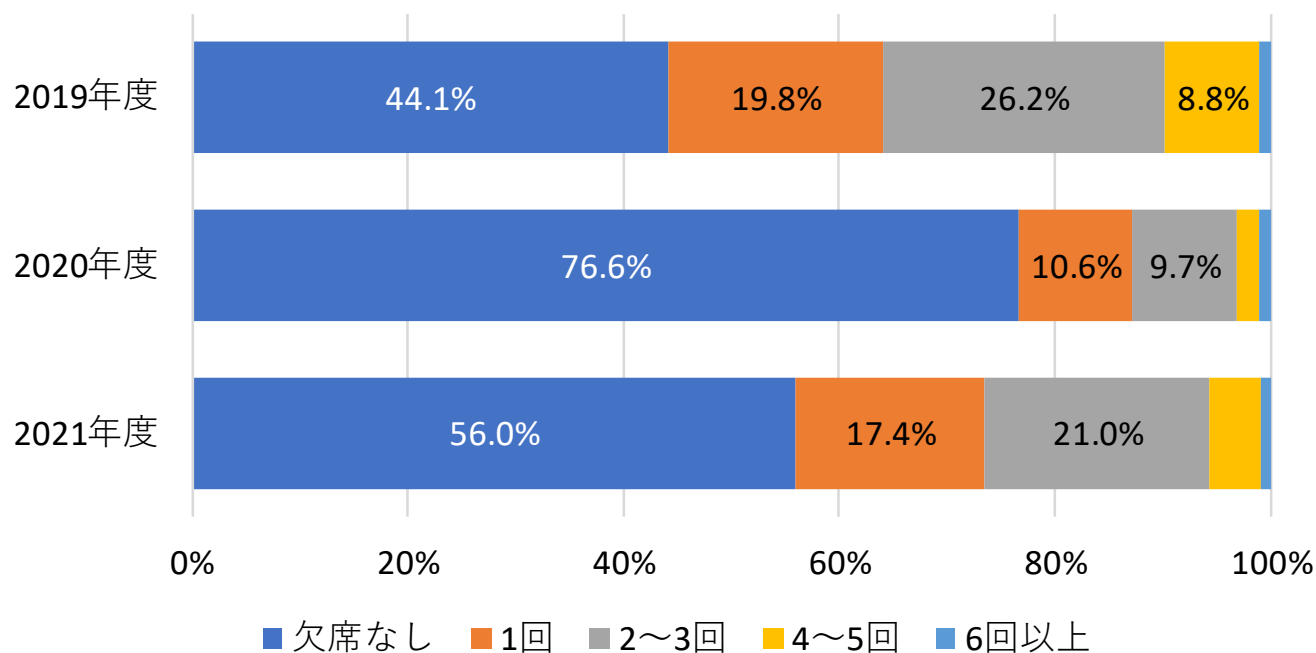
**高等教育開発センター
教学IR推進室
助教 山口 泰史**

2019年度/2020年度の秋期との比較：概要

- 2019年度秋期（新型コロナウイルス感染症流行前）、2020年度秋期（影響大）と、2021年度秋期（影響あり）を比較
 - 学生の学びに対する新型コロナウイルス感染症の影響を検討
- 各学期の授業アンケートの全回答（ただし、無回答は除く）を用いた比較
 - 帝京大学八王子キャンパス全体における学びの変遷を検討
- ただし、各年度に共通する設問に限定
- データの制約により、大学院生、科目等履修生も含む全データで比較

2019年度/2020年度の秋期との比較：出席回数

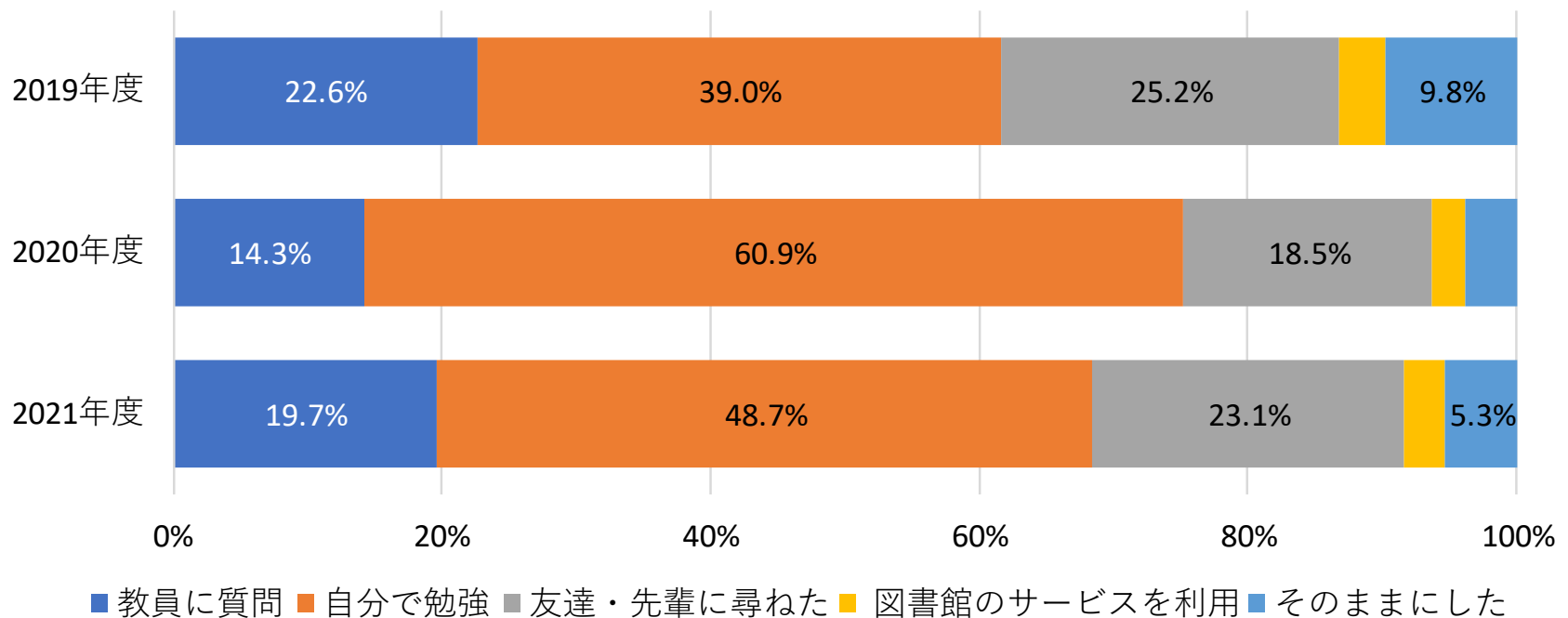
- あなたは、この授業にこれまでどの程度出席していますか。(オンライン授業を含む)



→2020年度に「欠席なし」が大きく増加。2021年度に減少したものの、2019年度よりも高い水準を維持

2019年度/2020年度の秋期との比較：疑問への対応

- あなたはこの授業で分からないことや疑問に思ったことについて、主にどのように対応しているか選択肢から1つ選んで下さい。



→コロナ以後、「自分で勉強」が多い傾向。「そのままにした」はやや減少傾向

2019年度/2020年度の秋期との比較：問2～7、問10

設問 ※番号は2021年度に基づく

2. この授業では、教員の説明や教材は内容がよく理解できるようになっていますか。

3. この授業では、教員は学生の質問や発言などに対応をしてくれていますか。

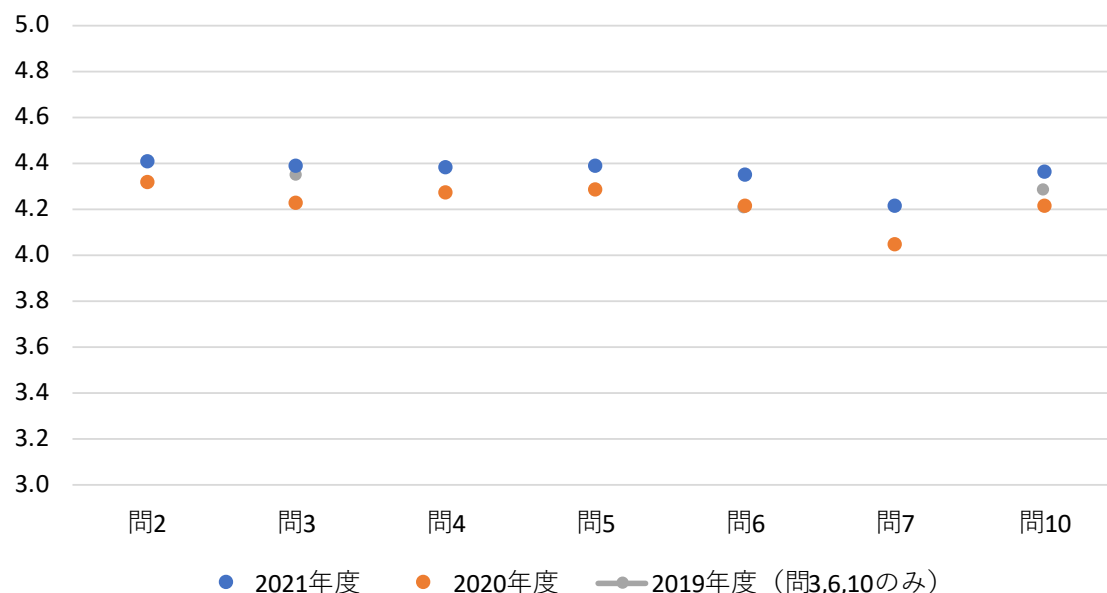
4. この授業では、到達目標を理解するのに十分な説明や取り組みがありますか。

5. この授業では、成績評価方法や評価基準を理解するのに十分な説明や取り組みがありますか。

6. あなたは、この授業のねらいや目標を理解して授業に取り組んでいますか。

7. あなたは、この授業の到達目標を達成できていますか。

10. あなたは、総合的に見て、この授業に満足していますか。



→2021年度は、2020年度に比べて全般的に上昇。授業のねらいや目標を理解して授業に取り組む（問6）や授業満足度など、コロナ前より上昇している項目も。

2019年度/2020年度の秋期との比較：まとめ

- 2020年度は、2019年度からの大きな変化がみられたものの、2021年度は、2019年度の状況に回帰する傾向
 - 対面実施の授業が大半を占めるようになり、コロナ前の日常が戻ってきた？
- もっとも、一部の項目において、望ましい（と思われる）回答が2019年度よりもみられる傾向も
 - 疑問への対応において、「そのままにした」が若干の減少
 - 授業への総合的な満足度が2019年度よりも上昇

2021年度秋期授業アンケート：自由記述について

高等教育開発センター
教育方法研究支援室
助教 安部健太

自由記述項目からみたオンライン授業

授業満足度高群の記述

- 自分のペースで学習できる（何度も繰り返し音声を聞ける）
- オンラインでも他の学生の意見を聞くことができた（掲示板，Zoomでのグループワーク）
- 毎回テスト，課題があり復習することができた

授業満足度低群の記述

- 資料の分かりにくさ
- 課題に関する説明の不足→単位や成績に関する不安
- 対面授業と比較すると質問がしづらい

2020年度資料より一部改変して引用

方法

➤ 分析対象

20秋

3,095件 (文: 5,152)

- 自由記述 (問16)
- この授業で実施したオンライン授業について良かった点(予想通り、あるいは予想以上)について自由にお書きください。また、悪かった点もありましたら自由にお書きください。その際、どうしてほしいか、どうなったらより良くなると思うかについてもアイデアがあればお聞かせください。
- 2021年度後期: 1,270件 (文: 1,666)
- 1,703件から「特になし」「よろしく願います」などの記述は対象外
- 問10「あなたは、総合的に見て、この授業に満足していますか」未回答6件も対象外

➤ 共起ネットワークの描画

- 茶筌 [松本・高岡・浅原, 2007] により形態素解析
- KH Coder Ver. 3.Beta.04 [樋口, 2004] により繰り返し抽出を実施し、関係性の理解に適していると解釈した共起ネットワークを描画 (対象: 26回以上出現、上位40語を対象)

➤ 2020年度との違い

- 授業満足度高群・低群別に自由記述文の共起ネットワークを描き内容を把握
- ダブルバーレル形式の質問のため、授業満足度による分類は反対意見が見逃されてしまう
- 問10 総合満足度ごとの回答数: 5点(612名)、4点(533名)、3点(85名)、2点(27名)、1点(13名)

2020年度調査で指摘された授業満足度高群の記述との関連

自分のペースで学習できる

[ID1772, 英語, 2点] オンラインならではの自分のペースで取り組めたのでよかったです

[ID6234, 講義, 4点] ZOOMを使ったのも凄く良いと思った。今後あるなら、月1回ペースで行うともっと面白いものになるのではと感じた。

毎回テスト、課題があり復習することができた

[ID4782, 英語, 4点] ちゃんと課題があるため対面と同じクオリティを保っていると感じた。

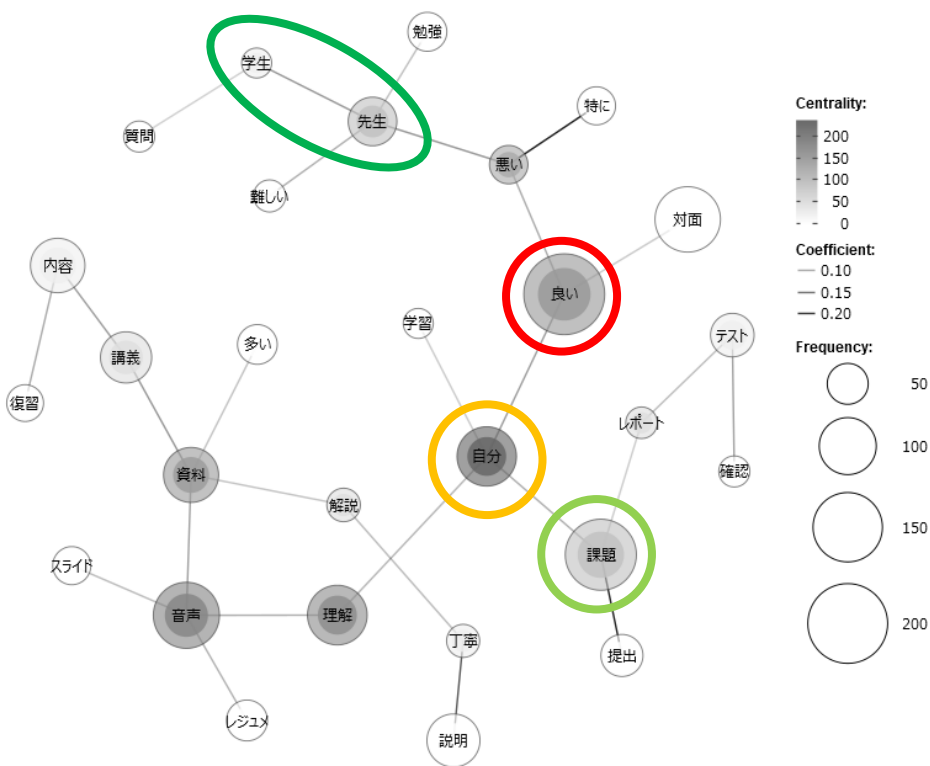
[ID2288, 講義, 4点] 課題については、もう少し出してもよかったのかな、と思いました。

[ID5619, 講義, 2点] 毎回同じ形式の課題を短い期間で出されているとつらくなってくる。

オンラインでも他の学生の意見を聞くことができた

[ID4058, 演習, 5点] 自分だけでなく、他者の発表を聞くことで、自分が考えていない発想を身に着けることができる点が非常に良いと思いました

[ID4176, 講義, 4点] 掲示板に3名の書き込みがされていても返事が掲載されなかったので、意見が届いているのか心配になる



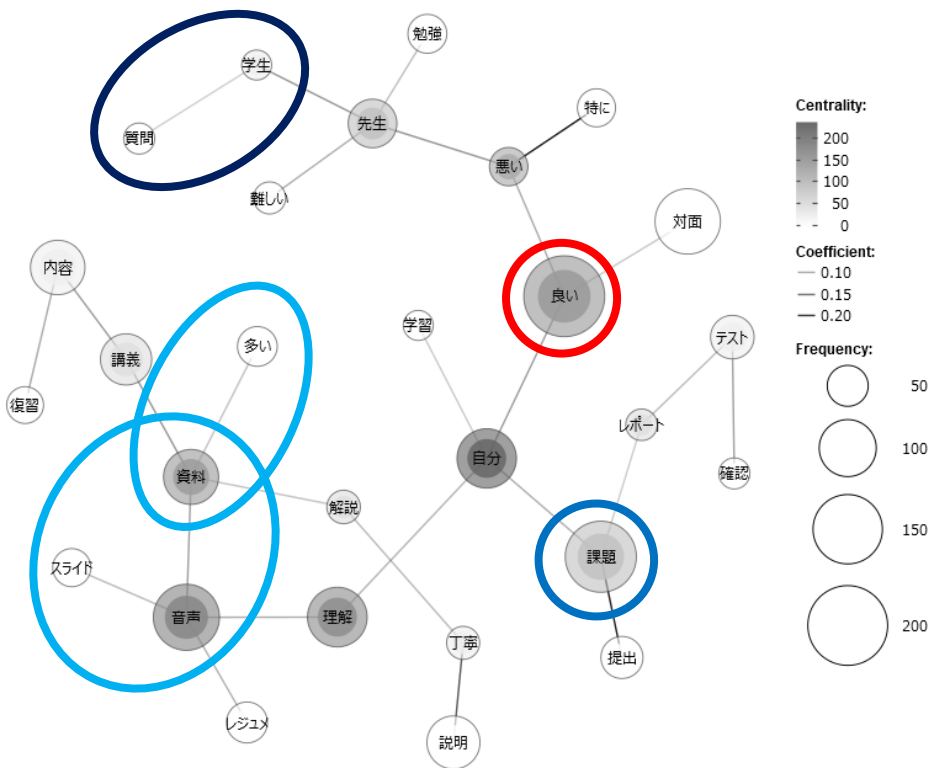
2020年度調査で指摘された授業満足度低群の記述との関連

資料の分かりにくさ

[ID6799, 講義, 4点] 毎回授業の説明書があり、指示が明確でわかりやすかった。

[ID3790, 講義, 2点] パワーポイントかワードなどで行って欲しいです。音声だけだと分かりにくいので。

[ID5734, 講義, 3点] 内容が濃い。補足資料が多い。まとまったpdfファイルにしてほしかった。スライドはわかりやすかった。



課題に関する説明の不足

[ID741, 講義, 5点] 毎回の課題提出と同じ形式だったのでやりやすかったです。

[ID2071, 演習, 5点] 課題について、全体への総評はあったが、自分が取り組んだ課題への評価がなかった。

対面授業と比較すると質問がしづらい

[ID6230, 講義, 4点] メールや掲示板等で質問対応をしてくださるので、受けやすかったです。

[ID1116, 講義, 4点] やはりすぐに分からないところを質問できないことが良くないと思った。

まとめ

➤各自のペースでできる利点は2021年度も継続

- 形態や課題の分量は学生と相談できるかもしれない

➤リッチメディアにこだわらない複数のメディア資料の配置

- 無理なく対面授業のオンライン化

➤時間割の管理

- 講義以外の課題提出や意見交換の調整

